

## わたし しょうしん 私 にとっての 両親

ねんまえ よる じ いのちが たたか はは たいない う わたし そふ きかんしえん  
23年前の夜10時、命懸けで戦った母の胎内から生まれた私。祖父は「気管支炎のために  
イーアール ちりょう う せいちょう わたし い  
E R で治療を受けなければならなかったんだよ。」と、成長した私に言いました。そのため、  
さい びょうき にゅういん  
12歳まで病気がちで、入院することもありました。

こども ころ しょうしん わたし どうぶつえん つ い かず どうぶつ なか  
子供の頃から両親はいつも、私を動物園に連れて行ってくれました。数いる動物の中でも、  
わたし き どうぶつ ぞう ぞう おお ゆうかん どうぶつ  
私には気になる動物がいます。それは象です。なぜなら、象は大きくて勇敢な動物であり、  
あたま よく ちゅうじつ ゆうじん ぞう すてき おも どうぶつ ほか  
頭が良く、忠実な友人であり、タフだからです。象より素敵だと思う動物は、他にもいるかも  
しれません。それでも、あときの動物園での思い出は、私にとっては とても 心に残るもの  
でした。思い出すだけで、昔に戻りたくなります。

わたし せいちょう こうこう そつぎょうご にほん はたら けつい はは きょか え  
私は成長し、高校を卒業後、日本で働くことを決意したのですが、母の許可は得られません  
でした。しかし、けっさく にほん い わたし じぶん がん こ ひと おも とき  
結局日本に行きました。私は自分を頑固な人だと思いました。その時、  
にほん たの おも にほん す し  
日本には楽しいことがあると思っていました。しかし、日本に住んでみると、知らないことが  
たくさんありました。にほん てきおう にほん まな なが じかん わたし  
日本に適応し、日本について学ぶのに長い時間がかかりました。私が  
にほん す ねん まいばん しょうしん でんわ ころ まいにち  
日本に住んで1年ぐらいは、ほとんど毎晩、両親に電話をしていました。その頃は、毎日の  
くに かえ な ちち わら きみほんとう あま ぼう  
ように国に帰りたくて泣いていました。父は笑いながら「ソフィ、君は本当に甘えん坊だね。」と  
い われ ました。「あー、わたしほんとうめんどうさいい人だなあ。」と心の中で思いました。

しょうしん わたし しんぱい ちが かわ わたし わら  
両親が私のことを心配しているに違いないことはわかっていますが、彼らは私を笑って  
げんき だいじょうぶ ちち い まいあさ  
元気づけようとしてくれます。「大丈夫、ソフィならできるよ」と父は言いました。毎朝、  
「おはよう！！」「仕事頑張ってる！」「今日も笑顔を忘れずに」と、父と母はメールを送って  
くれました。さくねん にほん す ねん わたし さい たんじょうび わか とき  
くれました。昨年、日本に住んでちょうど2年。私が22歳の誕生日を迎えた時のことです。

ちち たんじょうび きみ おとな きのう な す  
父に「お誕生日おめでとう。君は大人になったね。昨日まではまだ泣くのが好きだったけど、  
きょう じりつ わたしたち むすめ ほこ おも  
今日はもう自立しているね。ソフィが私達の娘であることを、とても誇りに思っているよ。」と  
い  
言ってくれました。

わたし りょうしん えがお かぎ わたし せかい だいじょうぶ おも  
私にとって、両親がそばで笑顔でいてくれる限り、私の世界はきっと大丈夫だと思います。  
いま りょうしん けんこう しあわ すがた み どう かあ  
今は、両親が健康で幸せな姿を見ただけです。お父さん、お母さん、いつもいつも  
ありがとう。

せいちょう  
ご清聴いただき、ありがとうございます。